（十一）、（十二）、（十三）**ほそばのせいたかぎく、いはぎく、てうせんのぎく**　ノ三種ハイヅレモ稀レナモノデほそばのせいたかぎくハ中國及ビ九州ノ所々ノ濕地ニノミ生エテヰルモノデ大キナ頭狀花デヨク發達シタ純白ノ舌狀花冠ヲ有シテ見事デアルガ元來ソノ自生地ハ濕地デアルカラ普通ノ庭園ニ栽培スルト間モ無ク枯死スル、いはぎく及ビてうせんのぎくハ本州又ハ九州ノ一二ノ高山ニ見出サレル高山性ノモノデアル、恐ラク此等三種ハ本來ガ朝鮮滿洲等北ノ地ノ原產ノモノガ本邦ニ來テヰルノデアラウ因ミニ、以上十三種ノ野生菊ノ染色體數ヲ記セバ同一ノ染色體數デナク種類ニヨッテ異ナリ、ソシテ基本數九ノ整數倍ニ增加シテ行ッヰルコトハ田原正人博士ノ研究デ名高イ、減數分裂ニヨッテ半減シタ數デ言フトあぶらぎく、りゅうなうぎく、はまぎく、ほそばのせいたかぎくノ四種ハ九、しまかんぎくハ拾八、のぢぎく、にじがはまぎく二種ハ貳拾七、しほぎくハ參拾六、いそぎく、こはまぎくノ二種ハ最高ノ四拾五デアル、さつまのぎくハ目下研究中デアルガ恐ラク參拾六ト思ハレル

○日本變形菌譜（其八）

理學博士　服部廣太郎

○Physarum penetrale Rex

子囊體ハ「オレンヂ」色ノ柄ト西洋梨形ノ子囊トデ成リ朽木ヤ蕨ノ上ニマバラニ發生スル、子囊膜ノ地色ハ鶯茶色デ之ニ黃色ノ細カイ石灰質粒ガ附着シ此膜ハ後ニハ縱ニ裂ケテ散失スルコトモアル、柄ハ眞直ノコトト少シク弓形ニ曲レル者モアッテ上部ニ細ク下部ニ幾分太マリ終ニ變形膜ニ移リ行ク、柄ハ子囊內ニ入リ込ミテ其縱徑ノ殆ンド四分ノ三位ノ長サノ子囊軸トナルコトガ此種ノ特性デアル（第二圖）

細毛體ハ子囊軸ノ周圍カラ分レ出タ光輝アル無色ノ絲ガ分レ分レテ密ナ網トナッタ者デアッテ、網目ノ角々デ

第一圖

Physarum penetrale Rex ノ全形　（十倍大）

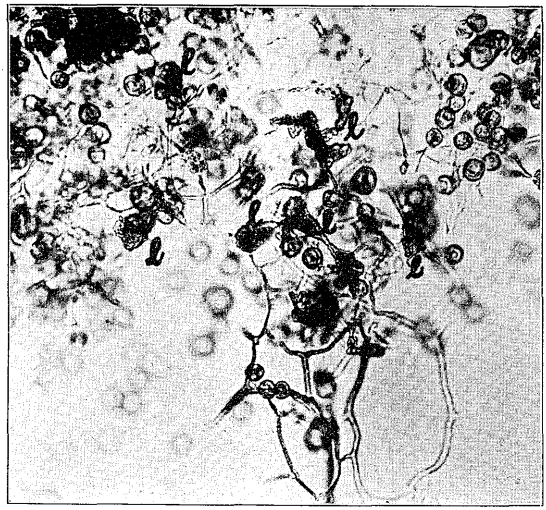
第二圖

同上、子嚢膜ト胞子ノ大部分トヲ去リタル者（八十倍大）

ハ絲ガ稍三角形ニ擴ガッテ居リ茲ニ黄色ノ石灰粒ガ溜リ形ノ一定セザル小ナル石灰節ガ出來ル（第三圖1）、此細毛體ハ子嚢ガ破レテ胞子ガ飛散シタ跡ニ明瞭ニ殘ルコトガアル

胞子ハ大サ五―七μノ直徑ニナリ淡褐色デ表面ニハ全體ニ極メテ微細ナ突起ガアル

此種ハ歐洲ニハ廣ク分布シ北米デハ其東部ニ知ラレ其他デハ智利、瓜哇ニモ産スルコトガ知ラレテ居ル、日本デハ今迄ハ重ニ本州ノ中部デ採集セラレタ、茲ニ述ベタ者ハ東京ノ採品デアル



第三圖

同上、細毛體、石灰節(1)ト胞子（四百倍大）

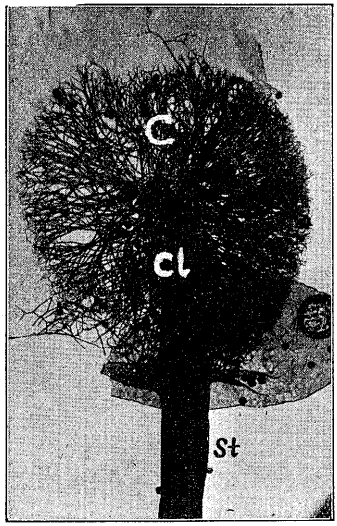
○Lamproderma columbinum (Persoon) Rostafinski

子嚢體ハ朽木ノ上ニ群生シ紫黒色ニシテ光澤アル柄ノ上ニ球形又ハ橢圓形ヲナシタ子嚢ヲ有スル、子嚢ノ膜壁ハ頗ル光澤ガアリ濃キ紫黒色デ光ヲ反射セシメルト青銅色カ瑠璃色カノ光彩ヲ現ハス、柄ハ子嚢體全長ノ約四分ノ三位ノ長サガアッテ直立スル管デ之ニ縦筋ガアル、柄ノ基脚ニ紫褐色ノ變形膜ヲ僅カニ殘ス者モアル、子嚢軸ハ太クシテ其長サハ子嚢ノ徑ノ約三分ノ二位モアッテ先ニ丸味ノアル圓柱狀ヲナスカ（第五圖C1）或ハ上端ニ膨大シテ棍棒狀ヲナスコトモアル

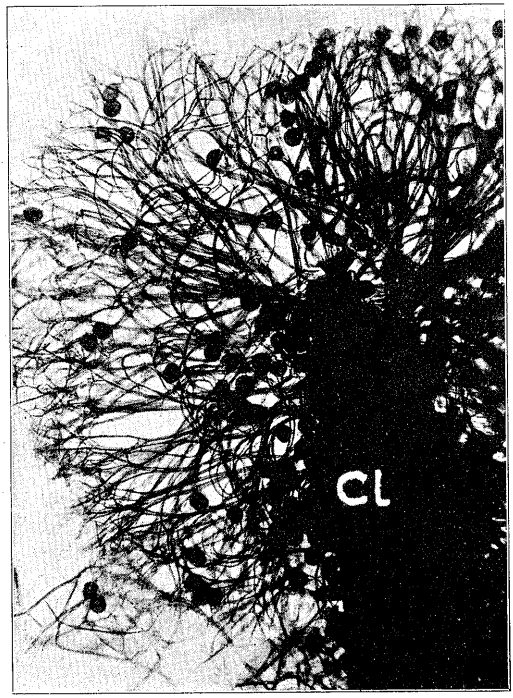
細毛體ハ子嚢軸ノ周圍カラ無數ノ細カキ枝ガ分レ出デタル者ニ初マリ、

第四圖

Lamproderma columbinum (Pers.) Rost. ノ全形（五倍大）



第五圖
同上ノ子嚢軸（Cl）ト細毛體（C）ト柄（St）
（八十倍大）



第六〃圖
同上ノ一部ヲ擴大シタル者デ諸所ニ胞子ガ殘ル（二百倍大）

此枝ガ更ニ數回二叉ニ分レ斯クシテ出來タ細枝ハ途中ニテ互ニ連絡シテ疎キ網トナリ先端ハ遊離シタル儘ニ終ッテ居ル、第六圖ニ其趣キヲ知ルコトガ出來ル、細毛體ノ絲ノ色ハ紫褐色デアルガ末ニ行クニ從ヒ殆ンド無色ニナル

胞子ハ一〇―一一μ位ノ直徑ガアリ、全面ニハ微細ノ疣狀突起ヲ出シ各粒ハ淡紫褐色ニ見エル

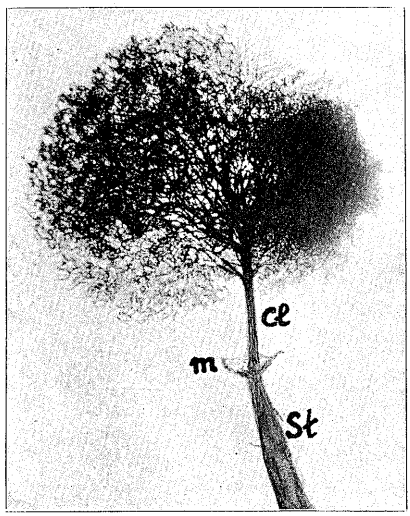
此種ハ歐洲北米ノ溫帶地方ヤ爪哇ノ如キ熱帶地方ニモ產スル、日本デハ九州カラ北海道ニ渉ッテ知ラレテ居ル、茲ニ掲ゲタ者ハ日向霧島山麓ノ產デ日野巖氏ノ採集品デアル

第七圖

Lamproderma arcyrionema Rost. ノ全形　（五倍大）

○Lamproderma arcyrionema Rostafinski

此種モ亦朽木上ニ簇生シ時ニハ大群ヲナシテ發生スルコトモアル、子嚢體ノ外觀ハ殆ンド前揭ノ種ト同樣デアルガ、子嚢ノ膜壁ハ大キク裂ケテ僅カニ柄ニ著ケル一小部分ダケヲ殘シテ散逸スル傾キガアル、子嚢軸ハ前種ト異リ細クシテ其長サ子嚢徑ノ約三分ノ一位ニ達シ先ハ數本ニ分レル、其各枝ハ更ニ幾回モ分レ遂ニハ目ガ細カクシテ縮レタ絲ノ網トナッテ胞子ヲ包ンデ居ル、其故胞子ハ絡マリ著イテ之ヲ取リ去ルコトハ容易デナイ、第八圖ニ見ル大小ノ黑キ塊リハ胞子群デアル



第八圖

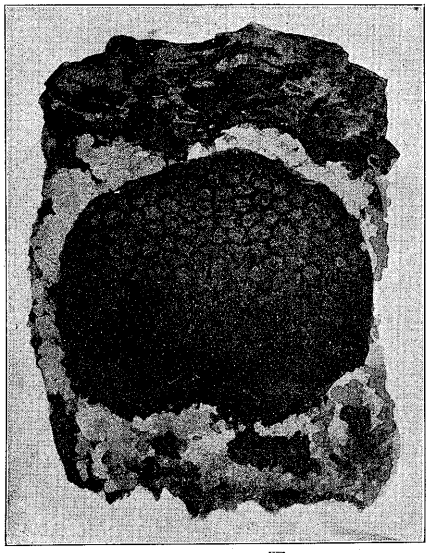
同上ノ細毛體、子嚢軸 (Cl)、子嚢膜ノ殘 (m) ト柄 (St)　（百倍大）

胞子ノ團塊ハ紫黑色ニ見エ各個ハ淡キ菫色ヲ呈シ大サハ六—八 μ位アル、其表面ハ殆ンド平滑デ幽カニ點々ガ散在スル

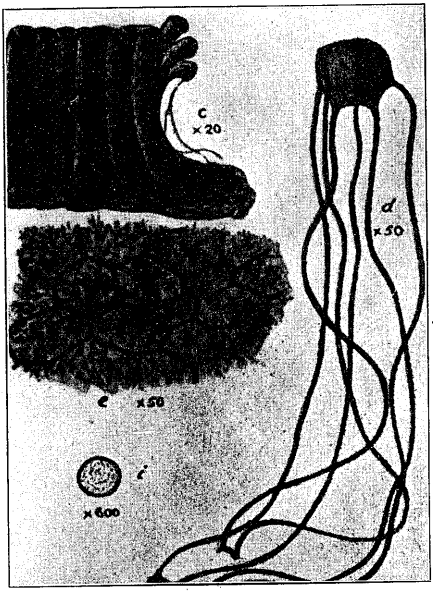
此種ハ瓜哇、西印度諸島、ブラジル、セイロン等ノ熱帶地方カラ歐米ノ溫帶地方ニモ產スルコトガ知ラレ、日本デハ臺灣カラ本州ノ中部ニカケテ採集セラレタ、茲ニ擧ゲタノハ下野那須產デアル

○Dictydiaethalium plumbeum (Schumacher) Rostafinski

此種ノ子囊ハ多數ニ密接シテ著合子囊體トナッテ朽木上ニ發生スル、其全形ハ扁平デアルカ或ハ少シク中高カニナッテ厚サハ三粍位ニナリ廣サハ直徑五糎位ニ達スル者モアル、表面ニハ微細ナ龜甲紋ガアリ色觀ハ「オリーブ」色ヲ帶ビタ褐色カ「ブロンヅ」色卽チ媚茶（コビチャ）色ニ見エル、著合體ノ周圍ニハ灰白色ノ變形膜ガ明瞭ニ殘ル

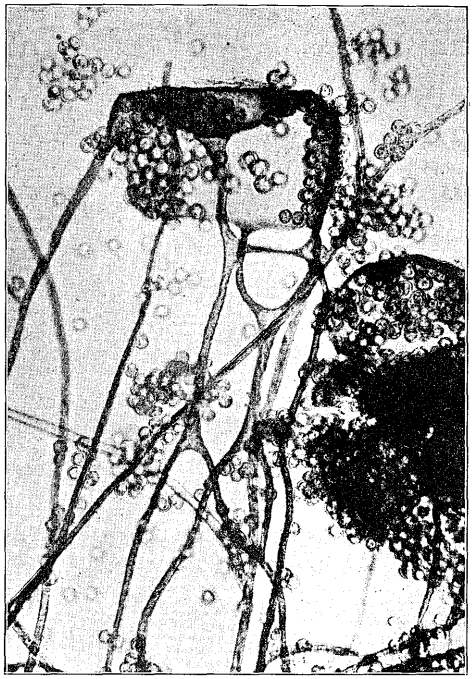


第　九　圖
Dictydiaethalium plumbeum (Sch.) Rost. ノ全形寫生圖



第　十　圖
同上、著合子囊體ノ一部(c)、笠ト筋トノミニ成リタル子囊(d)、子囊ヲ去リタル變形膜(e)、胞子(i)（Lister 氏ニ據ル）

コトガアル、子嚢ハ縦長ノ圓筒デ頂端ニ丸味ガアル、此嚢ガ變形膜カラ簇立シ堅ク密著スルガ爲メニ壓迫セラレテ多角形ニ成ル（第十圖c）、斯クシテ著合體ヲ形成スルノデアルガ各子嚢ハヤガテ外面ニ見エル頂端ノ膜ト之ニ連續シタ比較的太クシテ淡黄褐色ノ數本ノ筋トノミヲ殘シテ殘餘ノ膜壁ハ全ク散失スル、此子嚢ノ頂端膜ノ角々カラ出タ太キ筋ハ眞直ニ一本ナルコト途中ニ枝ヲ分チ且ツ隣ノ筋ト横ニ連絡スル者モアッテ上カラ下ニ支柱ノ如クニ立チ列ブ、其故成熟シタ子嚢ヲ鏡檢スルト笠ノ隅々カラ紐ヲ垂レ下ゲタ様ナ奇形ノ者（第十圖d、第十一圖）ト、其間ニ包容セラレタ胞子トノミガ現ハレル



第十一圖

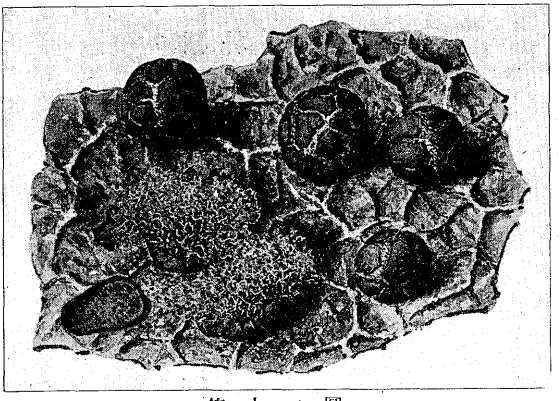
大廓ヲ部一ノ嚢子ル成リタ筋ト笠ニ成ト筋ト同上、シタルモノ　（大倍百二）

胞子ハ九―一二μノ大サガアリ、團塊ハ黄褐色又ハ鳶色ニ見エ各個ハ僅カニ黄色ヲ呈シ、全面ニハ微細ナ突起ガ密生スル

此種ハ溫帶、熱帶ノ兩地方ヲ通ジテ廣ク產シ、日本デハ臺灣カラ本州中部デ既ニ採集セラレテ居ル、茲ニハ下野那須ノ採品ヲ例トシタ

此種ノ變種ノ一トシテ知ラレタ者ニ **Var. cinnabarinum** (Saccard) Hiranuma ト云フノガアル、是モ亦日本デハ本種同樣ノ地方ニ相當ニ數多ク發生スルコトガ知レテ居ル、其著合體ヤ胞子ノ色彩ガ紅樺色（ベニカバ）(Pompeian

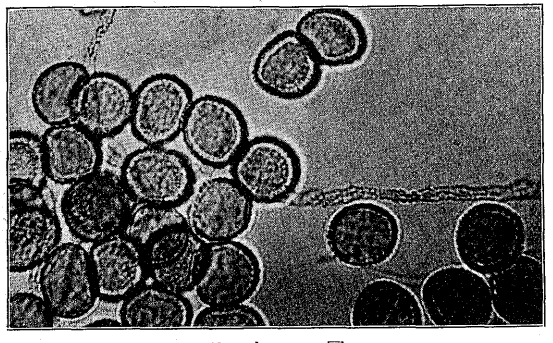
red)トカ淺緋色(ウスヒ)又ハ緋褪色(ヒザメ) (Eugenia red)ノ色調ヲ有スル、SACCARD 氏ガ嘗テ之ヲ伊太利ノ北部デ發見シテ Clathroptychium cinnabarinum トㇾ命名シタガ LISTER 氏ハ之ヲ本種ノ未熟ノ者ト考定シタ、平沼氏ハ日本産ノ者ヲ本種ノ一變種ト認メテ前記ノ如ク改訂シタ、其記事ハ未ダ發表サレテ居ラヌガ日本産ノ多クノ者ヲ見ルニL氏ノ所謂「未熟ノ狀態ノ者」デナクシテ成熟シタル者モ多イ點カラ此變種ノ名ヲ保存シ置クモ宜シキカト考ヘル、次ニ第九圖ハ寫生圖ノ複製デアルガ、子囊ノ寄合ッタ龜甲形模樣ヲ明瞭ニスル爲メニ著合體ノ直徑ニ比シ幾分不釣合ニ廓大シテ表ハシテアル



第十二圖

Perichaena tessellata G. LISTER ノ全形寫生圖

（大倍十二）



第十三圖

（大倍千）　子胞ト體毛細ノ上同

○Perichaena tessellata G. LISTER

此種ハ落葉ノ上ニ單獨ニ點々發生スル、內子囊體ハ球形ヲナシ外膜ノ色觀ハ紫色ノ勝ッタ海老茶色デアル、大ナル者デ直徑一粍位ニナリ成熟シタ者デハ此膜ガ龜甲形ニ裂ケテ白色ニシテ薄キ內膜ト子囊內ヲ充タス濃橙黃色ノ細毛體ト胞子群トガ現ハレル、又時ニハ裂ケ

タ膜壁ノ大部分ハ散逸シテ僅カニ下半部ノミガ盃狀ヲナシテ殘ルコトモアル

細毛體ハ極メテ細長クシテ所々デ稀ニ枝ヲ分ツ中空ノ絲デアッテ表面ニハ全體ニ渉ッテ疣狀ノ小突起ガアル、且ツ絲ニハ輕イ縊レガ到ル所ニ在ルガ爲メニ不平等ノ太サニ見エル（第十三圖）

胞子ハ團塊ハ橙黃色ニ見エルガ各粒ハ淡キ黃色デアッテ大サハ一〇μ內外ヲ算シ表面ニハ全體ニ著シキ小突起ガアル

此種ハ　今上陛下ガ下野那須餘笹澤ニ行幸御採集ノ砌リ、昭和五年九月五日ト同六年九月四日トノ二回ニ渉ッテ朴ノ落葉ニ發生シタ者ヲ初メテ御發見ニナッタノデアッテ、同屬ノ P. depressa 及ビ P. quadrata ニ多少似タル點モアルガ外觀デハ其球形ニシテ單獨ノ子囊體ヲ形成スルコトヲ特異トスル、其故 G. Lister 氏ハ之ヲ新種ト認メテ昨年十二月號ノ Journal of Botany ニ其記事ヲ發表シタ

○植學瑣談

理學士　石川光春

玆ニ改マッテ言フノモ可笑敷イガ吾人ノ四圍ニ生ゼル自然物ハ鹿爪ラシク言ヘバ一トシテ生物學ノ研究對稱物タラザルハ無ク又博物ノ學ニ沒頭スル仁ニ興味ヲ與ヘナイ物トテハ無イデアラウ、唯然シ其ノ物ガ餘リニ普通デアルトツイ吾人ノ注意ガ自ラ脫シテ折角ノ滋味モ味ハデ逸シテ了ヒ軈テ顧テ案外燈臺下暗キヲ歎ゼシムル結果ニナル、庶物ノ學、特ニ道ハ邇キニアルヲ思ハシムル事實デアル、吾人固ヨリ淺學ノ徒、常ニ日常親炙スル處ニ未知ノ世界ガ案外廣キニ驚カサレツヽモ少シヅツ之ヲ學ンデ自ラ得ル處アリ、我ガ恥ヲ曝スニ似タレド左ニ二三所謂平凡ナ處ヲ特記シテ識者ノ示敎ヲ仰ガントスル

一　荷葉ノ臍